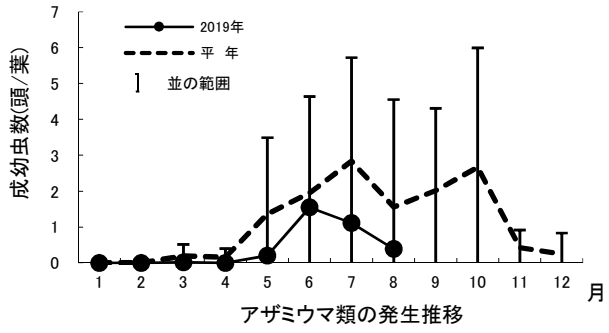
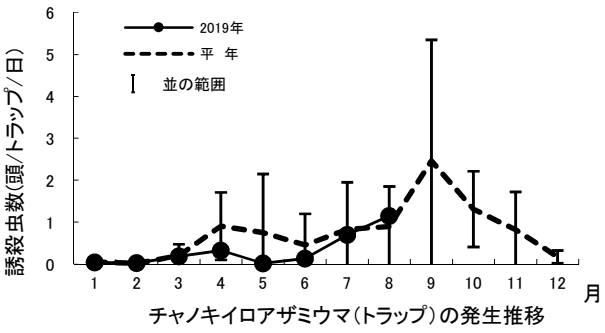
平成　31 年度　　9 月予報

| 作物 | マンゴー | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① チャノキイロアザミウマ | | |
| 予報 | 9 月の発生量（平年比） | 並 | |
| | 8 月からの増減傾向 | ↗ | |
| 予報の根拠 | 8 月の発生量（平年比） | 並 | |
| | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移（↗） | |

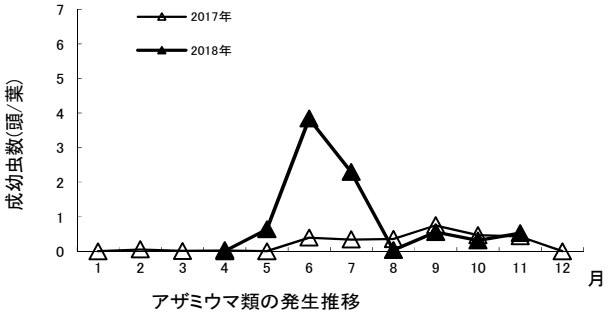
調査結果

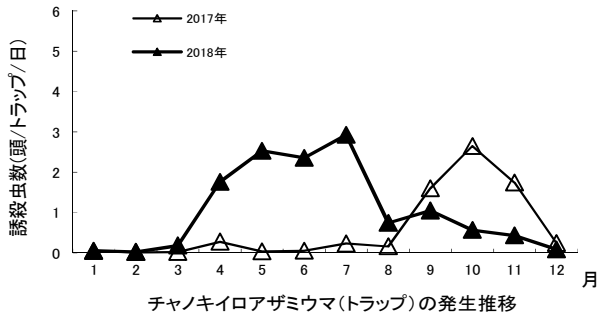
今期と平年の推移




過去2年間の推移




防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける

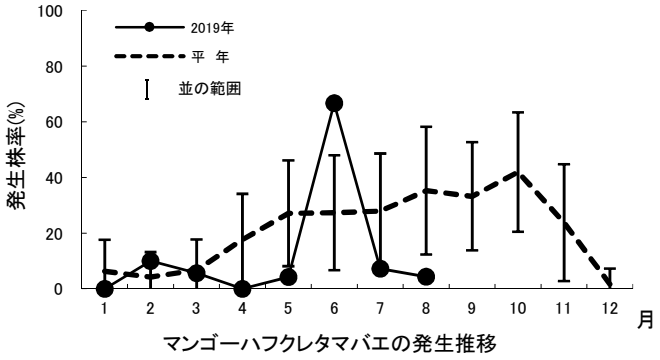
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　9 月予報

| 作物 | マンゴー | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | マンゴーハフクレタマバエ | | |
| 予報 | 9 月の発生量（平年比） | やや少 | |
| | 8 月からの増減傾向 | → | |
| 予報の根拠 | 8 月の発生量（平年比） | やや少 | |
| | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移（→） | |

調査結果

今期と平年の推移

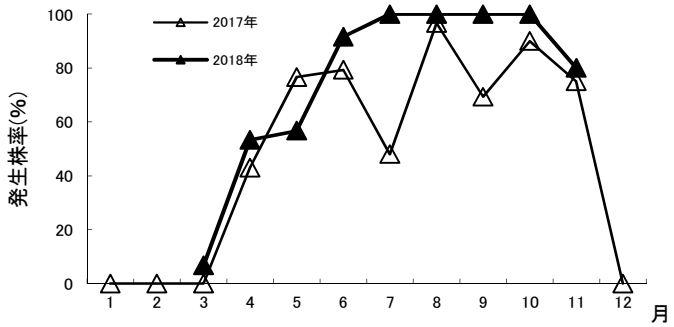


マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・発生株率（%）：4.33（前年100　平年35.28）

・被害新梢率（%）：23.33

過去2年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

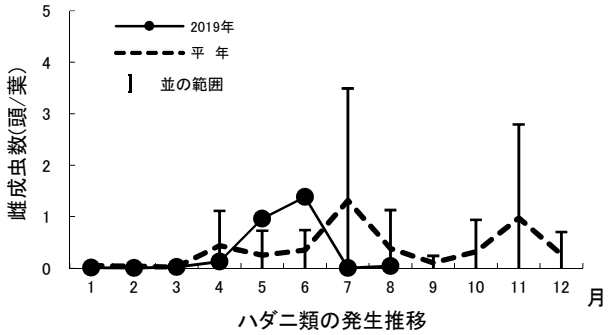
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　9 月予報

| 作物 | マンゴー | | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ② ハダニ類 | | シュレイツメハダニ | |
| 予報 | 9 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| | 8 月からの増減傾向 | → | | |
| 予報の根拠 | 8 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| | その他<br>(気象要因など) | 平年の９月の発生量 | | |

調査結果

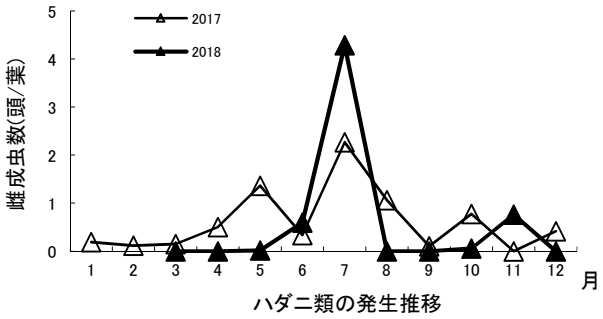
今期と平年の推移



ハダニ類の発生推移

・雌成虫数(頭/葉)：0.04（前年0.00　平年0.38）

過去2年間の推移



ハダニ類の発生推移

防除のポイント

・晩秋にかけて発生が多くなるので、発生ほ場では早期発見・防除を行う。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ